

整理番号	HT30022	分野	医歯薬学	キーワード	転倒、姿勢と動作
------	---------	----	------	-------	----------

研究機関名	秋田大学				
プログラム名	転倒しそうな高齢者を見つけ出せ！ －安定した姿勢や動作のヒミツ－				
先生（代表者）	伊藤(上村)佐知子 大学院医学系研究科・准教授				
自己紹介	理学療法士と臨床心理士です。 睡眠導入剤が高齢者の翌日に与える影響を、精神・運動機能の両面から研究してきました。 最近では、温泉の効果(睡眠、筋疲労)にも興味を持って研究しています。				
開催日時・募集対象	平成 30 年 7 月 29 日(日)	受講対象者	高校生	募集人数	20 名
集合場所・時間	秋田大学医学部保健学科 玄関前		(集合時間)	9:40	
開催会場	秋田大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 理学療法学講座 住所: 〒010-8543 秋田市本道 1-1-1 アクセスマップ URL: http://www.akita-u.ac.jp/honbu/access/				
内 容					
高齢化が進む現代において、高齢者の健康寿命(元気に過ごす時間)のを伸ばすことは、我が国の重要な課題です。足腰が弱くなり、転倒して寝たきりになる高齢者は、寝たきり全体の 3 割近くにのぼるといいます。転倒しそうな高齢者を発見し、転倒を予防することは大変重要なことです。 今回、高齢者の転倒をスクリーニングする指標を用いて、運動・認知機能からなる人間の姿勢や動作のしくみを学ぶ機会を企画しました。実際に、これらの指標を体験することで、人体の不思議と人間の基本動作能力のすばらしさを感じると思います。 内容は、まず、人間の体と姿勢や動作のしくみについて講義を行います。次に、これらの制御を阻害する病気や障害を説明し、スクリーニングできる以下の指標を紹介します。 運動機能の評価として、①重心動揺テスト(静的立位バランス)、②(動的立位バランス)、③10M 歩行、④10M 二重課題歩行、⑤Timed Up & Go Test(起立歩行・方向転換)、⑥5 回椅子立ち座りテスト(下肢筋力) ⑦握力、⑧下肢伸展筋力(Cybex)を体験します。 認知機能の評価は、⑨認知症テスト(MMSE)、⑩トレイルメイキングテスト(注意力)、⑪フリッカー検査(CFF)(覚醒レベル)、⑫単純弁別反応課題(目と手の反応)、⑬計算課題について、解説を交えながら体験します。					
					
図 1. 下肢伸展筋力 (Cybex)		図 2. 単純弁別反応課題			

スケジュール		持 ち 物
9:40～10:00	受付(集合場所:医学部保健学科玄関前)	筆記用具 動きやすい服装と内履き 昼食
10:00～10:20	開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)	
10:20～10:50	講義① 人間の体と姿勢や動作のしくみ	
11:05～11:45	講義② 動作を阻害する病気や障害	
11:45～12:00	質疑応答	特 記 事 項
12:00～13:00	昼食(持参する)	
13:00～14:40	実習①運動機能の評価	
14:40～15:00	クッキータイム	
15:00～16:10	実習②認知機能の評価	
16:10～16:40	ディスカッション	
16:40～17:00	修了式(アンケートの記入、未来博士号の授与)	
17:00	終了・解散	

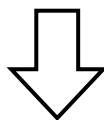
《お問合せ・お申込先》

所 属・氏 名：	秋田大学大学院医学系研究科理学療法学専攻 上村佐知子
住 所：	〒014-0805 秋田市本道 1-1-1 秋田大学医学部保健学科
T E L 番 号：	018-884-6529
F A X 番 号：	018-884-6500
E - m a i l：	uemura@hs.akita-u.ac.jp
申込締切日：	平成30年 7 月 14 日(土)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムと関係する先生(代表者)の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
伊藤(上村) 佐知子	平成 28～ 30 年度	基盤研究(C)	40271829	各種の睡眠薬(オレキシン阻害、メラトニン、BZ 賦活作用)が健康高齢者に及ぼす影響



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。